【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2008-151780(P2008-151780A)
【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)
【年通号数】公開・登録公報2008-026
【出願番号】特願2007-311890(P2007-311890)
【国際特許分類】
Ｇ２１Ｃ　19/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ２１Ｃ　19/02　　ＧＤＢＪ
Ｇ２１Ｃ　19/02　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
円筒状の内側部材と円筒状の外側部材の間の出入制限区域内の周囲溶接部をブラッシングするための工具アセンブリであって、
前記内側部材の外径より大きく且つ前記外側部材の内径より小さい寸法の円周方向プレート（１２）と、
前記円周方向プレートと結合された少なくとも１つの更新ブラシ（１４）と、
前記更新ブラシに結合され、前記更新ブラシを回転させるモータと、
前記内側部材と前記外側部材の間に固定可能であり、前記円周方向プレートに係合する駆動アセンブリ（１８）であって、前記円周方向プレートを前記駆動アセンブリに対して前記出入制限区域内で円周方向に駆動する駆動アセンブリ（１８）と、
を備える工具アセンブリ。
【請求項２】
前記円周方向プレート（１２）は、前記内側部材または前記外側部材の一方と係合可能なローラ（３０）を備える請求項１に記載の工具アセンブリ。
【請求項３】
前記円周方向プレート（１２）は円周方向ラック（２０）を備え、前記駆動アセンブリ（１８）は前記円周方向ラックと係合可能なピニオン（２２）を備える請求項１に記載の工具アセンブリ。
【請求項４】
前記駆動アセンブリ（１８）は、前記ピニオン（２２）に結合され、該ピニオンを駆動するモータ（２４）を更に備える請求項３に記載の工具アセンブリ。
【請求項５】
前記駆動アセンブリモータ（２４）は駆動ベルト（２６）に結合され、前記駆動ベルトは駆動歯車に連結され、該駆動歯車は前記ピニオンに連結されて運動力を前記モータから前記ピニオンに伝達する請求項４に記載の工具アセンブリ。
【請求項６】
前記駆動ベルトはチェーン（２６）である請求項５に記載の工具アセンブリ。
【請求項７】

前記駆動アセンブリ（１８）は、前記内側部材と前記外側部材の間の前記出入制限区域周りに配置された複数のピニオン（２２）を備える請求項３に記載の工具アセンブリ。
【請求項８】
円筒状の内側部材と円筒状の外側部材の間の出入制限区域内の周囲溶接部をブラッシングするための工具アセンブリであって、
前記内側部材の外径より大きく且つ前記外側部材の内径より小さい寸法の円周方向プレート（１２）と、
前記円周方向プレートと結合された少なくとも１つの更新ブラシ（１４）と、
前記更新ブラシに結合され、前記更新ブラシを回転させるモータと、
前記内側部材と前記外側部材の間に搭載され、前記円周方向プレートに係合する駆動アセンブリ（１８）であって、前記円周方向プレートを前記出入制限区域内で円周方向に駆動する駆動アセンブリ（１８）と、
を備え、
前記円周方向プレート（１２）は円周方向ラック（２０）を備え、前記駆動アセンブリ（１８）は前記円周方向ラックと係合可能なピニオン（２２）を備え、
前記円周方向プレート（１２）は前記内側部材を囲繞する寸法とされ、前記駆動アセンブリ（１８）は前記外側部材と前記ピニオン（２２）の間に配置されたプッシュシリンダ（２８）を備える、
工具アセンブリ。
【請求項９】
前記駆動アセンブリ（１８）は、前記内側部材の周囲に離隔された複数の駆動ユニットを備える請求項１に記載の工具アセンブリ。
【請求項１０】
引張表面応力による、溶接部の亀裂の初発もしくは成長の発生度を緩和するために円筒状の金属構造を表面コンディショニングする方法であって、
前記円筒状金属構造の外径または前記円筒状金属構造の内径の一方に隣接適合する寸法とされた円周方向プレート（１２）を設けるステップと、
少なくとも１つの更新ブラシ（１４）を前記円周方向プレートと結合させるステップと、
駆動アセンブリと前記円周方向プレートとを係合するステップと、
前記駆動アセンブリにより前記円周方向プレートを円周方向に駆動して、前記駆動アセンブリに対して前記更新ブラシを回転させるステップと、
を包含する方法。